

労働組合法立法史料研究(解題篇)

<労働関係法令立法史料研究会>



労働組合法立法史料研究（解題篇）
＜労働関係法令立法史料研究会＞

ま え が き

労働組合法は、第二次大戦終戦直後の昭和20年10月11日に占領軍司令官マッカーサー元帥が幣原喜重郎首相に日本民主化の5大改革のひとつとして提示した「労働組合結成の促進」に応じて、同12月に制定された。この昭和20年労働組合法は、厚生省の中に設置された労務法制審議委員会において、占領軍の介入を受けずに起草されたものであるが、昭和24年に総司令部の意向により改正が加えられた。

本報告書「労働組合法立法史料研究」(解題篇)は、厚生労働省に保管されているのが発見された昭和20年労働組合法(昭和20年12月22日法律第51号)および昭和24年改正労働組合法(昭和24年6月1日法律第174号)の成立過程の史料について、労働関係法令立法史料研究会(座長・渡辺章筑波大学名誉教授)の8人の研究者がそれぞれ分担し、政府提出法案確定までの推移および変遷の跡をたどって解題を施している。

本報告書は、労働立法政策研究における有用性が極めて高いことから、労働政策に関する有益な情報収集の成果である「国内労働情報」として刊行する。昭和20年労働組合法および昭和24年労働組合法の草案起草過程を示す史料については、「条文史料篇」として別途刊行されており、本報告書と併せて、関係各方面で広く活用され、労働組合法のより深い理解につながることを願うものである。

2014年5月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野 和夫

執筆者（解題篇）

（執筆順）

- 渡辺 章 筑波大学名誉教授（第一章Ⅰ、第一章Ⅱ）
- 竹内（奥野）寿 早稲田大学法学学術院准教授（第二章Ⅰ、第二章Ⅳ）
- 富永晃一 上智大学法学部准教授（第二章Ⅱ）
- 野川 忍 明治大学法科大学院法務研究科教授（第二章Ⅲ）
- 中窪裕也 一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授（第二章Ⅴ）
- 和田 肇 名古屋大学大学院法学研究科教授（第二章Ⅵ）
- 野田 進 九州大学大学院法学研究院教授（第二章Ⅶ）
- 土田道夫 同志社大学法学部・法学研究科教授（第二章Ⅷ）

○は研究会座長

目 次

第一章 昭和 20 年労働組合法（渡辺 章）

- I 昭和 20 年労働組合法案の起草および帝国議会の審議経過概要…………… 1
- II 昭和 20 年労働組合法の草案審議および成立……………29

第二章 昭和 24 年改正労働組合法

- I 昭和 24 年労働組合法改正の経緯及びGHQ勸告、第 1 次案から
第 12 次案までの概要（竹内（奥野）寿）……………84
- II 総則・刑事免責解題（富永晃一）……………106
- III 労働組合・民刑事免責解題（野川 忍）……………126
- IV 団体交渉解題（竹内（奥野）寿）……………140
- V 不当労働行為解題（中窪裕也）……………167
- VI 労働協約解題（和田 肇）……………202
- VII 労働委員会解題（野田 進）……………222
- VIII 罰則・雑則・附則解題（土田道夫）……………255